

令和2年4月20日発行

編集発行 **176号**

社会福祉法人  
宇都宮市社会福祉協議会  
宇都宮市中央1丁目1番15号  
宇都宮市総合福祉センター内  
電話 028-636-1215(代)  
FAX 028-638-9856  
<http://www.utsunomiya-syakyo.or.jp>

宇都宮市社会福祉協議会 検索

# うつのみや 社協だより

ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣型”の地域共生社会の構築を目指して

## 令和2年度 社協会員加入のお願い

●会費の使い道(一例)～身近な地域の居場所づくりに～



▲誰もが気楽に集い交流できる「ふれあい・いきいきサロン」  
(R2.2.29月現在 市内303箇所に設置)



▲安心・安全情報キット配付事業の実施



▲出前福祉共有講座(車椅子体験)の開催

令和元年度は 皆さまに **34,857,233円** (R2.2.29現在) のご協力をいただきました。

宇都宮市社会福祉協議会(社協)は、すべての市民の皆さまが安心して生活できる福祉のまちづくりをめざし、市民の皆さまや各関係機関・団体とともに、身近な地域における福祉活動やボランティア活動を進める民間の福祉団体です。

ご協力いただいた会費は、全額「皆さまがお住まいの身近な地域」や、「宇都宮市全域」での福祉活動に活用させていただいております。

活動の目的・趣旨にご賛同いただき、社協会員にご加入くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

### 会員の種類と会費

- 普通会員(各世帯) ..... 300円以上
- 特別会員(個人) ..... 1,000円以上
- 団体会員(社会福祉施設・団体・機関) ..... 5,000円以上
- 賛助会員(企業・事業所・個人) ..... 10,000円以上

※社協会費(会員加入)は皆さまの意思に基づくもの(任意)であり、強制するものではありません。

“うつのみや社協だより”は、**回覧** です。よろしくお願い申し上げます。

# 令和2年度 宇都宮市社会福祉協議会 事業計画・予算



本会では、「第4次宇都宮市地域福祉活動計画」に基づき、「ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣型”の地域共生社会」の構築を目指し、「福祉のこころをはぐくむ人づくり」「安心して暮らせる福祉の基盤づくり」「共に支えあう地域社会づくり」の3つの基本目標のもと、社会福祉協議会の役割と活動を精査しつつ、地区社会福祉協議会や宇都宮市をはじめ、関係機関・団体等との連携をこれまで以上に密にし、本会の有する機能と役割を最大限に発揮し、さらなる地域福祉の推進に努めてまいります。

## ● 事業計画

### 1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

#### (1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

- ① 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進
- ② やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実
- ③ 宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

#### (2) 福祉に関する人材の育成と共有の推進

- ① ボランティア養成の充実
  - (ア) ボランティア体験プログラムの実施
  - (イ) ボランティア入門講座の開催(ぼらんていあSaturday)

- (ウ) 学生ボランティアの養成(サマーボランティアスクール)
- (エ) 災害福祉救援ボランティア養成講座の開催
- (オ) 傾聴ボランティア養成講座の開催
- (カ) ボランティア登録者の活動の支援
- (キ) 福祉共有講座の開催
- ② 福祉共有の推進
  - (ア) 出前福祉共有講座の充実
  - (イ) 福祉共有・ボランティア推進フォーラムの開催

### 2. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり

#### (1) 社会参画の促進

- ① 老人クラブ支援の充実
- ② 老人福祉センター機能の充実【市指定管理事業】
- ③ 障がい福祉施設機能の充実【市指定管理事業】
- ④ 地区福祉まつり支援の充実
- ⑤ 男性高齢者調理講習会事業の充実

#### (2) 情報提供体制の充実

- ① 心配ごと・悩みごと相談センター事業の充実
- ② 地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実

#### (3) さまざまなニーズに応じたサービスの提供

- ① 日常生活自立支援事業「あすてらす」事業の実施【県社協受託事業】
- ② 法人後見事業の実施
- ③ 介護保険事業等の充実
  - (ア) 居宅介護支援事業所の運営(介護保険サービス)
  - (イ) 訪問介護事業所の運営(介護保険サービス)

- (ウ) 居宅介護事業所の運営(障がい福祉サービス)
- (エ) 通所介護事業所の運営(介護保険サービス)
- (オ) 生活介護事業所の運営(障がい福祉サービス)
- ④ 地域包括支援センター事業の充実【市受託事業】
- ⑤ 指定特定相談支援事業所・指定障がい児相談支援事業所の運営(障がい福祉サービス等利用計画作成)
- ⑥ 車いす等福祉機器貸出事業の推進
- ⑦ 福祉理美容サービス事業の推進
- ⑧ ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進
- ⑨ 福祉機器・介護用品展示室の開設
- ⑩ 生活福祉資金等貸付事業・臨時特例つなぎ資金事業の実施【県社協受託事業】
- ⑪ 社会福祉資金貸付事業の管理
- ⑫ 生活困窮者自立相談支援事業の推進【市受託事業】

### 3. 共に支えあう地域社会づくり

#### (1) 共に支えあう地域づくり

- ① コミュニティワークの推進
- ② 地区社会福祉協議会支援の充実
- ③ ふれあいいきいきサロン事業の推進
- ④ 安心・安全情報キット配付事業の推進
- ⑤ ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実
- ⑥ 自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・地域包括支援センター等関係機関・団体との連携・協働の推進
- ⑦ 福祉団体・福祉施設との連携・協働の推進
- ⑧ まちづくりセンター等の関係機関・団体との連携・協働の推進
- ⑨ ボランティアセンター機能の充実
  - (ア) ボランティアの相談・登録・調整
  - (イ) ボランティア協会の活動支援
  - (ウ) ボランティア活動用機材貸出事業の推進
  - (エ) ボランティア研修会の開催

- ⑩ 災害ボランティアセンター機能の充実
  - (ア) 災害ボランティアセンター運営訓練の実施
  - (イ) 災害情報の収集・発信
  - (ウ) 災害福祉救援ボランティアフォローアップ研修の開催
- ⑪ ファミリーケアサービス事業の充実

#### (2) 市民の主体的な地域活動への支援

- ① 第4次地域福祉活動計画の推進
- ② 福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)策定の支援
- ③ 福祉協力員制度の推進
- ④ 社会福祉協議会会員制度の充実
- ⑤ ぎんなん基金事業の充実
- ⑥ 善意銀行事業の促進
  - (ア) 金銭・物品の預託・払い出し
  - (イ) 収集物品の預託
- ⑦ 宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の推進【市受託事業】
- ⑧ 敬老会事業の充実

## 4. 指定管理施設等の管理・経営

### (1) 指定管理施設の管理・経営

- ① 老人福祉センターの管理・経営(5施設)  
ことぶき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘・すこやか荘  
上河内老人福祉センター
- ② 地域活動支援センターの管理・経営(3施設)  
雀の宮作業所・若草作業所・障がい者福祉センター
- ③ 総合福祉センターの管理・経営(2施設)  
宇都宮市総合福祉センター・河内総合福祉センター

- ② 地域包括支援センター事業の実施(2箇所)  
地域包括支援センター御本丸・上河内地域包括支援センター
- ③ 日中一時支援事業の実施(3箇所)  
(ア)放課後支援型 あっとほーむすずめ・うだいかわち  
(イ)日中支援型 河内地域活動支援事業所
- ④ 障がい者福祉バス事業の実施
- ⑤ 奉仕員養成講座の実施(手話・点訳・音訳)
- ⑥ 意思疎通支援事業(要約筆記者派遣事業)の実施
- ⑦ 移動支援事業の実施
- ⑧ 生活困窮者自立相談支援事業の実施
- ⑨ 宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施

### (2) 市からの受託事業の実施

- ① 障がい者生活支援センター事業の実施

## ● 収支予算

### (1) 社会福祉事業

① 法人運営	230,180千円
② 福祉活動推進事業	43,097千円
③ ボランティアセンター事業	39,653千円
④ 総合相談センター事業	4,120千円
⑤ 権利擁護・成年後見センター事業	15,890千円
⑥ がんなん基金事業	16,279千円
⑦ 善意銀行事業	976千円
⑧ 共同募金配分金事業	37,923千円
⑨ 生活福祉資金貸付事業	7,498千円
⑩ 社会福祉資金貸付事業	2,922千円
⑪ 老人福祉センター	228,359千円
⑫ 地域活動支援センター	52,034千円
⑬ 障がい者福祉センター	38,162千円
⑭ 宇都宮市総合福祉センター	78,922千円
⑮ 河内総合福祉センター	60,467千円
⑯ 訪問介護事業	31,967千円

⑰ 通所介護事業	20,658千円
⑱ 居宅介護支援事業	13,301千円

計

922,408 千円

### (2) 公益事業

① 地域包括支援センター御本丸	39,162千円
② 上河内地域包括支援センター	30,501千円
③ 障がい者福祉バス事業	8,952千円
④ 障がい者生活支援事業	17,295千円
⑤ 日中一時支援事業	19,424千円
⑥ 生活困窮者自立相談支援事業	33,858千円
⑦ ファミリーケアサービス事業	7,629千円

計

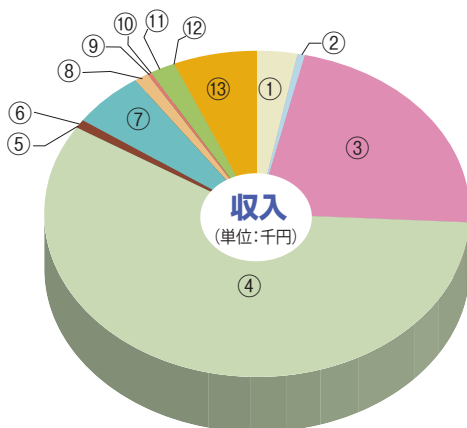
156,821 千円

総合計

1,079,229 千円

## 収入

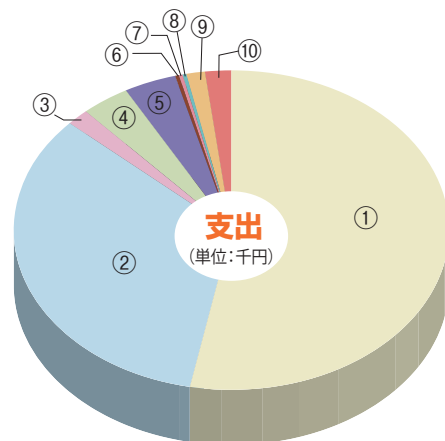
収入合計 1,079,229 千円



① 会費収入	35,810千円(3.3%)	⑧ 障害福祉サービス等事業収入	10,456千円(1%)
② 寄附金収入	4,031千円(0.4%)	⑨ 受取利息配当金収入	2,314千円(0.2%)
③ 経常経費補助金収入	239,427千円(22.1%)	⑩ その他の収入	299千円(0.1%)
④ 受託金収入	626,433千円(58%)	⑪ 基金積立資産取崩収入	20,536千円(1.9%)
⑤ 貸付事業収入	10千円(0.1%)	⑫ 積立資産取崩収入	1,001千円(0.1%)
⑥ 事業収入	10,495千円(1%)	⑬ 繰越金	67,332千円(6.2%)
⑦ 介護保険事業収入	61,085千円(5.6%)		

## 支出

支出合計 1,079,229 千円



① 人件費支出	574,869千円(53.3%)	⑧ 固定資産取得支出	1,961千円(0.2%)
② 事業費支出	363,093千円(33.6%)	⑨ 基金積立資産支出	15,986千円(1.5%)
③ 事務費支出	18,614千円(1.7%)	⑩ 予備費	17,962千円(1.7%)
④ 共同募金配分金事業費支出	38,105千円(3.5%)		
⑤ 助成金支出	40,840千円(3.8%)		
⑥ 負担金支出	4,370千円(0.4%)		
⑦ 返還金支出	3,429千円(0.3%)		

## エンジョイ峰が丘サロン（峰地区）

～皆で楽しみ、のぼそう健康寿命～

### ★ サロン情報

開催日時：毎月第3月曜日 午前10時～正午 ほか、適宜開催

場所：宇都宮大学UUプラザ

代表者：鈴木 知子さん（健康づくり推進員）

立ち上げ動機：地元育ちの医師から、ボランティアで健康講話に協力するとの話を受けたことをきっかけに、皆さまが正しい医療・福祉の知識を身につけ、健康で楽しく生活し続けられるようにと、誰でも参加できるサロンを立ち上げました。

### ★ 実施内容

- ・転倒防止足指体操
- ・口腔、飲み込み体操
- ・MIYA体操、ゆる体操
- ・医師による健康講話
- ・出前講座
- ・宇都宮大学構内散策 など

### 誰でも参加OK！地域の垣根を超えたサロン

地区内外の方が気軽に参加できるサロンとして、宇都宮大学構内で実施しています。遠方からバス等でいらっしゃる参加者もいて、毎回40名程集まり、にぎやかに過ごしています。現在は高齢の方が多く参加しているのですが、これからは若い世代の方も加わっていただけるような工夫をしていきたいと考えています。



▲「認知症の人と家族の会」代表の金澤様による講話

### サロンのアピールポイント

- ・参加者の健康維持・向上を目的として開催しているサロンです。体操を毎回実施し、健康に関する講座も年に何度か開催しています。
- ・よく噛ませる食事（「昭和」の食事）も健康につながります。ちょっとしたお惣菜や噛むお菓子などを用意しています。
- ・小さなお子さんや学生さんから高齢の方まで、また、どの地域にお住まいの方どなたでも、ぜひご参加ください！



▲宇都宮大学の構内を散策

## 福祉協力員

### 中央地区 おかだ みちこ 岡田 道子さん（元石町自治会）

活動年数：13年目

活動内容：ふれあい・いきいきサロンの運営、近隣の方への見守りや声かけ、ふれあい会食会の運営、敬老会への協力など



〈岡田さん〉

### サロンを中心にした見守り活動を・・・

自治会長から2年がいいからと言われ、始めたのがきっかけです。当時は、年1回程度、ふれあい会食会で、湯茶のお手伝いをする程度の活動でした。

サロンができてからは、福祉協力員を4ブロックに分け、1ヶ月ずつ交代で運営しています。Aブロックの会長として毎回参加するようになってから、活動が増えました。



▲手作りのゲームでみんなと楽しく！



### オリジナルのゲームで脱マンネリ化！

輪投げやボッチャなど定番の運動も人気ですが、飽きさせないために、オリジナルのゲームも用意して実施しています。勝ち負けを競うのではなく、楽しんでやっていただくよう心がけています。

今後一度に大きく変えるのではなく、皆さまの意見を聞きながらちょっとした変化を取り入れて、盛り上げていきたいと思ひます。



▲サロンはいつも30名程集合！

## 紹介コーナー

## サロンすこやか（国本地区）

～普通が一番！そんな幸せサロン～

## ★ サロン情報

開催日時：毎月第2・4水曜日 午後1時30分～午後3時30分  
 場所：仁良塚公民館  
 代表者：藤田 貞夫さん（福祉協力員）  
 立ち上げ動機：はつらつ教室の終了後、継続して活動するために  
 サロンを立ち上げました。

## ★ 実施内容

・ストレッチ ・輪投げ  
 ・ことば遊び ・合唱  
 ・談話 など

## 参加者全員が松尾芭蕉!?

サロンでは、年に2回「ことば遊び」を行っており、これまでに13回実施しました。「ことば遊び」は、事前に配られた原稿に新聞などで「これは！」と思った俳句や川柳、短歌、または自作の句歌を提出します。提出された作品を代表者が詠み、参加者全員で票を入れて講評します。作品がどんな想いで作られたものなのか考えるのも、楽しみのひとつです。



▲ことば遊びの様子



▲餃子音頭を踊る様子

## サロンのアピールポイント

男性の参加者が比較的小さいと言われているサロンですが、当サロンでは参加者の2割強が男性です。餃子音頭やフォークダンス、輪投げにストレッチなど内容も充実しています。皆さまで歌う合唱はプロも驚くぐらいに圧巻です。普通に暮らせることの幸せを噛みしめながら、今後も活動していきます！

## 紹介コーナー

## 陽光地区

ごとう みつこ  
 後藤 光子さん  
 （緑4丁目自治会）

いしづき はるみ  
 石附 春美さん  
 （今宮4丁目自治会）



(左) 後藤さん (右) 石附さん

活動年数：後藤 光子さん 9年目（福祉協力員連絡会副会長）  
 石附 春美さん 18年目（福祉協力員連絡会副会長）  
 活動内容：ふれあい会食会、地区敬老会、ふれあい・いきいきサロン、  
 防災訓練や夏祭り等への協力・参加、まちづくり協議会福祉部会・  
 自治会福祉部と連携した見守り活動など

## 「安心して暮らし続けられるまちづくり」のために

陽光地区地域ビジョンづくりに参画し、地区社協とともに「高齢者が生きがいを持って、はつらつと暮らせるまちづくり」を目標に、関係団体と協力しながら、様々な福祉活動に取り組んでいます。

特に、敬老会は参加者の割合が44%と高く、地区全体が“ワンチーム”で取り組む一大行事で、福祉協力員も手分けして招待状をお届けしています。当日は顔なじみの皆さまの笑顔が会場にあふれ、私たちも喜びを感じます。

これからもきめ細かな見守りや声かけを続けていきたいと思ひます。



▲自治会ごとに福祉協力員会議を開催

## 福祉協力員活動の充実を目指して

高齢化が進む中、福祉協力員が若干増員されましたが、後継者の確保が重要な課題となっています。また、福祉協力員の多くが女性であるため、団結力があり、交流もスムーズですが、男性が必要としている支援や相談などに十分な対応ができていないのではと懸念しています。

地域における福祉ボランティアの担い手を増やしなが、円滑に世代交代ができるような仕組みづくりを目指して、若手と男性をキーワードに仲間づくりにも取り組んでいます。



▲敬老会では受付と会場内の湯茶接待などを担当

# 令和2年度 ボランティア養成講座

令和2年度に開催予定のボランティア養成講座をご案内します。  
 講座の詳細や申込方法などは、随時「ボランティアセンターホームページ」  
 「広報うつのみや」などでお知らせしていきます。  
 皆さまのご参加をお待ちしています。



## テーマで学んでみたい方

	講座名	内容	開催予定
1	災害福祉救援 ボランティア養成講座	近年、大規模自然災害等が全国各地、栃木県内でも頻繁に発生しており、今や災害はいつ私達の身に降りかかるか分からない状況と言えます。日頃からできる減災対策や、災害ボランティアについて学ぶ講座です。(全3回予定)	6月頃
2	サマーボランティア スクール	高校生や大学生を対象とした、夏のボランティア体験講座です。仲間と出会い、喜びや感動を分かちあう夏の思い出づくりに参加してみませんか?(全2回予定)	7月~8月頃
3	傾聴ボランティア 養成講座	傾聴とは、相手の話を否定せずに受容し、心を傾けて聴くことです。傾聴の基本や技術などを、講義やロールプレイをとおして学ぶ講座です。(全4回予定)	9月頃

## 体験したい、知りたい方

	講座名	内容	開催予定
1	ぼらんていあSaturday ~聴覚障がいの理解~	「聞こえないってどんなこと?」 「手話を学ぼう」	7~8月頃 1~2月頃
2	ぼらんていあSaturday ~視覚障がいの理解~	「視覚障がいについて学ぼう」 「点字・アイマスクを体験してみよう」	
3	ぼらんていあ Saturday ~発達障がいの理解~	「発達障がいってなんだろう?」 デモンストレーション、不自由体験 他	8~9月頃
4	ぼらんていあ Saturday ~精神障がいの理解~	「精神障がいってなんだろう?」 「精神保健ボランティアについて」	9~10月頃



## 善意銀行

ご協力ありがとうございました。  
 皆様のあたたかい善意に心より感謝いたします。

使用済み切手やプルタブによる益金は、宇都宮市内の地域福祉活動やボランティア活動の  
 推進・支援に活用させていただきます。

令和元年12月~令和2年2月

寄附順・敬称略

預託者名	預託品等	預託者名	預託品等
三信電工(株) (3回)	プルタブ・使用済みテレフォ ンカード・使用済み切手	フコク生命宇都宮支社外野倶楽部 豊寿会	プルタブ プルタブ
足利銀行 齋藤 節子	プルタブ・使用済み切手 プルタブ	沼子 典司 (2回) 齋藤 雅子	プルタブ プルタブ
東電常備労組 宇都宮支部 宇都宮班・かぬま班	タオル (新品)	宇都宮機器(株)	使用済み切手
下野川柳会	使用済み切手	高齢者等地域活動支援ポイント事業 参加者 254名	84,800円
宇都宮北ライオンズクラブ (2回)	プルタブ	東日本盲導犬協会	使用済み切手
五家英子とみんなで楽しく踊ろう会	車いす 1台	宇都宮市立細谷小学校 PTA4学年部会	プルタブ
羽黒台自治会	プルタブ	(株)増淵組	使用済み切手・プルタブ
柏原 三重	プルタブ	宇都宮市国際交流協会	使用済み切手
(有)清明建設	使用済み切手	篠崎 キヨ	プルタブ
東芝エレベータ(株)栃木支店	使用済み切手	(有)聖会 パンピーニゆめ	プルタブ他
東地区まちづくり推進協議会 小島 弘義	プルタブ	日豊工業(株)	プルタブ
介護労働安定センター 栃木支所	使用済み切手		

【お問い合わせ】 ボランティアセンター (総合福祉センター8階) 電話 636-1285 FAX 634-2870  
 ホームページもご覧ください。

# 宇都宮市総合相談センター

## 「心配ごと・悩みごと 相談センター」へ



どんなことでもお気軽にご相談ください!

相談内容		相談員	相談開設日	相談時間
心配ごとや悩みごとの相談		民生委員児童委員	月～金	9:00～15:00
特別 相談	弁護士の法律相談	弁護士	第3火曜日	9:00～12:00 ※要予約・受付は11:30まで
	知的障がい者の生活相談	知的障がい者相談員	第3水曜日	10:00～15:00
	更生や犯罪予防に関する相談	保護司	第3木曜日	10:00～15:00
	こころの悩み相談	精神保健福祉士	第3金曜日	13:00～16:00

### 相談は

- 無料です●秘密は守ります
- 匿名や電話での相談もできます  
(法律相談は来所相談のみの受付となります)

※国民の祝休日・年末年始(12/29～1/3)は休み

**場所** 宇都宮市中央1-1-15  
(総合福祉センター5階)

**電話** 636-1215(代表)

身近な地域でも  
相談できます。

市内の老人福祉センター・総合福祉センターで心配ごとや悩みごとの

『巡回相談』をご利用ください。



場所		開催日	時間
老人福祉センター ことぶき会館	屋板町 558	毎月 第1木曜日	10:00～15:00
老人福祉センター ふれあい荘	陽東 2-3-1	毎月 第2木曜日	10:00～15:00
老人福祉センター やすらぎ荘	宝木本町 1991-1	毎月 第3木曜日	10:00～15:00
老人福祉センター すこやか荘	下砥上町 1259-3	毎月 第4木曜日	10:00～15:00
河内総合福祉センター	白沢町 385	毎月 第1火曜日	10:00～15:00

※施設の休館日にあたる場合は休み

# ぎんなん基金

ご協力  
ありがとうございました。



皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。

令和2年1月7日～ 3月13日

寄附順・敬称略

寄附者(団体)	金額(円)	寄附者(団体)	金額(円)
フレッシュマーケットとみや	2,000	世界平和統一家庭連合宇都宮家族教会	71,870
北宇都宮駐屯地一同	22,879	宇都宮さつき&花フェア実行委員会	10,000
高齢者等地域活動支援ポイント事業利用者(860名)	253,800	第13回宇都宮市民福祉の祭典実行委員会	63,720
なかよし善行ネットワーク	3,128	ステップ希望 会長 石川 孝子	10,000
パナソニックホームズ北関東(株)	157,285	アピタ宇都宮店 店長 渡邊 哲也	20,905
宇都宮友の会	30,000	Bandどんぐりころころ	30,000
カトリック松が峰教会 喫茶部 ぶどうの木	20,000	黄ぶな愉快プロジェクト	10,000
レーザーカラオケ中央支部 好友会 支部長 及川 ミネ子	15,000	匿名3件	17,468

【お問い合わせ】総務企画課(総合福祉センター1階) 電話 636-1215 FAX 638-9856

## 老人クラブに加入して、地域の皆さんと 楽しい交流をしてみませんか!

### 老人クラブとは

宇都宮市内の各地域に結成されている高齢者の自主的な組織です。生活を豊かにする楽しい余暇活動や地域福祉を支える社会活動をしています。

令和元年度現在で、301クラブ、約17,000人の会員が活動しています。

♪ クラブ毎に計画を立てながら、次のような活動をしています! ♪

#### 生きがいつくり

- 趣味やサークル活動(定例活動および発表会)
- 出前講座等を活用した勉強会



▲サークル活動



▲作品展示会

#### 仲間づくり

- 旅行や誕生会での親睦交流
- 一人暮らしの方への友愛訪問
- サロン活動



▲サロン活動



▲誕生日会

#### 健康づくり

- 輪投げ、ペタンク、グラウンドゴルフ
- 地区体育大会
- ウォーキング



▲グラウンドゴルフ



▲ウォーキング

#### 地域づくり

- 集会所や道路の除草・清掃
- 公園や道路沿線の花壇づくり
- 小学校児童の登下校時の見守り



▲花壇づくり



▲児童見守り活動

入会を希望される方、  
お問い合わせの方は  
右記までご連絡ください



宇都宮市老人クラブ連合会(愛称 **おいちよう宇都宮**)

〒320-0806 宇都宮市中央1-1-15 宇都宮市総合福祉センター5階

電話・FAX 028(634)4950

Eメール [uroren@utsunomiya-syakyo.or.jp](mailto:uroren@utsunomiya-syakyo.or.jp)